

東日本大震災において危機的な状況が危惧される
方言の実態に関する予備調査研究 報告書

目 次

第Ⅰ部 東日本大震災の中の方言

東北大学方言研究センターの取り組み	小林 隆	1
被災地の方言の特徴	田附敏尚	4
消えゆく被災地の貴重な方言	中西太郎	20
被災者を支える方言	魏ふく子	71
支援者の方言理解のために	坂喜美佳	111
方言保存のさまざまな方法	津田智史	127
未来に残す被災地の方言	川越めぐみ	139

第Ⅱ部 被災地方言の記録に向けて
—三陸地方南部の方言調査報告—

研究の概要	小林 隆	185
音韻	大橋純一	191
アクセント—気仙沼市—	佐藤亮一	205
アクセント—三陸地方南部地域—	田中宣廣	217
動詞の活用	田附敏尚	228
格助詞相当形式「ンドゴ」	玉懸 元	243

終助詞「ゴド」	玉懸 元	249
ヴォイス（受身・可能）	竹田晃子	257
テンス・アスペクト	竹田晃子	271
想起表現	吉田雅昭	283
伝統的方言語彙	作田将三郎	302
新しい方言語彙・三陸地方特有語彙	武田 拓	321
方言特有の「イキナリ」「ナゲル」「オチル」の分布状況 ...	櫛引祐希子	325
グイラ・ボット系オノマトペの個人差について	川越めぐみ	337
驚きの感動詞「バ」	小林 隆・澤村美幸	349
あいさつ表現	中西太郎	373
寝かせつけ場面を中心とした育児の言語行動	椎名渉子	393
付録 調査票		407